



ND育友会通信

NO. 1

2023年(令和5年)9月1日発行

会長挨拶



京都ノートルダム女子大学 ND育友会
会長 高取 久美子

ND育友会会員の皆様には日頃より本会の活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。本年度、会長の職を拝命いたしました、高取久美子と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

本年度より保護者会改め、ND育友会として新たな気持ちで活動して参りたいと思っております。学部も本年度から社会情報課程も増設されたことで、小さい規模ながら、現代のニーズに合った大学のあり方に準じ、ND育友会としても役員一同少人数ながら、それを生かすことで、和気あいあいと話し合いを進めることができ、お陰様で家族のように会員同士が接することとなり、いくつかの課題も解決に向けて早急に対応できるなど、気持ちがとても嬉しく思っております。

またND育友会は、お嬢様方の大学生活がより有意義なものとなりますよう、また大学の発展と教育目標達成の協力や、財政面でのフォロー、会員相互の親睦を図ることを目的としての活動を行っております。その活動においては、課外活動の援助をはじめ、教育環境の整備や奨学金の支給など、縁の下の力持的な存在として学生を陰ながら応援しております。

そして昨年度からは、コロナ禍で中止せざるを得なかった、ND祭でのバザーなど3年ぶりの開催ができたこと、また様々なイベントがコロナ前の再開に近づいて参りましたことも、保証人様はじめ学生にとっても一安心といったところでしょうか。本年度も様々な活動のサポートを、大学や学生たちのために邁進してまいります。大学の行動指針である「尊ぶ、対話する、共感する、行動する」をモットーに、ND育友会として新しいことにも、挑戦してゆく所存でございます。

会員の皆様方におかれましても、会の活動に是非ともご参加されると共に、活発なご意見、ご要望をお聞かせ願いたく、お待ち申し上げますので、どうぞ今後とも、さらなるご支援、ご協力を受け賜りますようお願い申し上げます。

学長挨拶



京都ノートルダム女子大学
学長 中村 久美

ND育友会と名前が改まって最初のお便りに、ご挨拶を書かせていただきます。学長の中村でございます。高取会長をはじめ育友会役員、および会員の皆様には、平素より大学運営にご協力いただきまして、ありがとうございます。

今年は桜の開花が早く、梅雨入りも異例の早さで、さらに梅雨の最中から真夏日、猛暑日連発と、誰もが否応なしに地球温暖化を実感せざるをえない上半期でした。

その気候不順と並んで今春話題になったのが、ChatGPTです。教育や研究、実務における本生成系AIへの対し方は、大学関係者の大きな課題となりました。本学では、教育センター、教務委員会、FD委員会が共催して、4月に開設しました社会情報課程の教員を講師に、まずは全学で勉強会を3回開きました。これには学生も参加しました。そのうえで、教育センター長、教務委員長より、学生及び指導にあたる教員に向けて、利用に際する教育効果と、逆に教育上の問題や留意事項などを解説した文書を発表しました。単純に禁止や制限を示す紋切り型ではないこの文書は、教員と学生に、本生成系AIとの関係を共に考える機会をもたせてくれるものでした。うまく利用すれば、批判的思考力を養い、思考の幅を広げられる生成系AIを、本学ではじっくり賢く教育、研究、実務に活用していきたいと考えています。

このように、本学の教育は、「共に学ぶ」「対話から学ぶ」という姿勢を持ちたいと考えています。そして学生にとっての学びは、教員から与えられるだけではなく、職員や学生同志、さらには実習先の関係者等、様々な大学ステークホルダーとの関わりの中からも生み出されるものです。

本学の学生は、素直で真面目な気持ちの良いお嬢さんが多いと、大学内外の色々な人々からよく言われます。気持ちの良い同級生や先輩たちと、じっくり話を聴いてくれる教職員の、居心地の良い環境のもと、それぞれに自分の学びを深め、汎用力と一定の専門性をしっかり身につけて、社会に羽ばたいていってくれることを願っています。

2023年度 ND育友会役員・評議員ご紹介

会長	高取 久美子	英文	4年
副会長	中田 啓之	心理	4年
"	山本 悟	こども	3年
理事	佐本 智子	国日	4年
"	野口 ゆみ子	英文	2年
"	青山 香里	こども	2年
"	木村 慈子	こども	2年
"	本波 佳由	こども	2年
監事	茂中 幸代	福生デ	4年
評議員	木村 紀子	福生デ	4年
"	嶋村 純子	心理	4年
"	杉岡 直美	心理	4年
"	当瀬 アリサ	心理	4年
"	和田 和代	心理	4年
"	岩田 真樹	英文	3年

評議員	田野 桂子	英文	3年
"	東原 美保	生環	2年
"	吉森 淳子	心理	2年
"	山下 央	英文	1年
"	横江 由美	英文	1年
"	水嶋 忠雄	国日	1年
"	植松 まゆみ	生環	1年
"	北庄司 智美	生環	1年
"	三代澤 恵美	生環	1年
"	境谷 貴子	心理	1年
"	高田 知代子	心理	1年
"	入江 祐子	こども	1年
"	武内 亜弥	こども	1年
"	西村 優子	こども	1年
"	渡辺 靖子	こども	1年
"	馬場 巖	情報	1年

本年度は新たに1年次生親御様から13名のご協力を得て、評議員21名、理事会役員9名で皆様の代表としてND育友会を運営できる運びとなりました。皆様からは行事への積極的なご参加をはじめ、学生達が有意義な大学生活を過ごせるようにどのような支援が必要か等、忌憚のないご意見やご協力を賜りたいと願っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



第1回評議員会(5月13日撮影)

2023年度ND育友会総会 開催報告

ND育友会事務局

【第一部:総会】

去る6月11日(日)13時から、2023年度ND育友会総会を開催しました。皆様には今年度のND育友会予算、事業計画等を諮るため事前に資料をご確認いただきましたが、委任を含めご参加いただきました会員様全会一致で承認されましたことを報告いたします。ご協力ありがとうございました。また、総会の決議承認の方法については、WEB方式を推進してはどうかといったご意見を賜り、今後の理事会・評議員会で協議を続け、皆様にとっての利便性をより一層考えて参りたいと存じます。



【第二部:講演】

京都ノートルダム女子大学のキャリア支援について ～キャリア教育、インターンシップ、ご家族のサポート～

講師: 濱中倫秀先生(キャリアセンター特任准教授)

ご家族の方々に本学のキャリア教育を知っていただき、お嬢様の就職活動をご理解、ご支援いただけるようにと「本学のキャリア教育について」をテーマに、キャリアセンターの濱中先生にお話をいただきました。就活の現場では毎年新しい情報が加わります。全体的に早期化が進む就活の最新情報を中心に、学生達がどのようなスケジュールで動き、大学ではどんな支援がなされているのかがわかりました。

キャリアセンターでも、学生が入りづらい様子があったので「どうすれば入りやすいキャリアセンターになるのか?」と、インテリアデザインを工夫してくださったそうです。1年次生からでも準備出来ることはたくさんあります。「就活するにあたり何をすればよいかわからないという人、どうぞそのとおり言って来てほしいです」と、心強いアドバイスも頂戴しております。親御様からもぜひ、お嬢様にそのようにお伝えしていただければと思います。

【第三部:学科別懇談会・第四部:個別相談会】

学科の先生による学科別懇談会を行いました。個別相談会では、成績・修学相談、就職相談、学生生活相談について、担当の教員または職員と面談できる機会を設けました。このようにきめ細かく対応していただけるのも、少人数教育の強みを活かした本学の特徴ではないでしょうか。



2023年度ND育友会の主な支援事業

施設助成費	学生関連施設整備維持費 学内外施設整備維持費
設備助成費	図書館学生用書籍 保健室AED交換代 クリスマスイルミネーション補助
課外教育助成	各クラブ活動補助(クラブ活動については大学HPからご覧ください)
学生行事費他	ND祭補助金 クラブ定期活動補助
学生支援助成費	学研災保険 就職ガイドブック 日経BP検索サービス 図書館ひざ掛けクリーニング 学生相談室ワークショップ
ND育友会特別援助奨学金	対象者に学費の一部として20万円を支給する給付型の奨学金です(詳しくは大学HP奨学金制度のページをご覧ください)
卒業記念品	卒業リング(学部生)
修了記念品	ボールペン(院生)



大学院修了記念品
CROSS
クラシックセンチュリー
大学名の名入り仕様



昭和46年当時の後援会時代から贈り続けている伝統の卒業リングは、純銀製で手彫りの文様、個人のイニシャル等が刻印されます。お嬢様方には、卒業アルバム撮影時にご案内し、採寸を行っています。

～学生相談室のご案内～

ND育友会の皆さまにおかれましては、日頃より学生相談室へ多大なるご協力とご理解を賜り、有難うございます。学生相談室では学生の皆さんが大学生活を健やかに送れるよう公認心理師・臨床心理士の資格をもった専門相談員が、メンタルヘルスに関するサポートをしています。また相談室の活動は、個別の面接だけでなく、学生の健康保持増進の為に定期的なメンタルヘルスやセルフケアに関する情報発信を行っています。

昨年度はND育友会の皆さまのご支援を受け、「コミュニケーションワーク」と「マインドフルネス&ヨーガでセルフケア」のワークショップを2回開催しました。2回目に実施した、マインドフルネス低減法とは「今、ここで起きている体験」に意識を向けることで、心と身体への気付きを深めるというものです。事後アンケートでは「参考になった」「普段悪い方に考えてしまうが、マインドフルネスな考え方を取り入れることで、ストレス軽減に役立てたい」といった感想が寄せられました。今後も学生の皆さんのメンタルヘルスに寄与できる企画が実施できたらと思います。



場 所 | ソフィア館1階
開 室 | 月～金曜日
(8時45分～17時15分)
予約制 | TEL 075-706-3717

10月ND祭のお知らせ 「第16回 バザー」を開催します！

日時:10月29日(日) 10:30～15:00

会場:本学マリア館 ガイスラーホール(予定)

毎年学生行事として支援しておりますND祭にて、学生と交流をはかり、会員同士の親睦を深めていただくことを目的として「第16回バザー」を開催します。当日はもちろん、気軽に大学に来ていただける機会として、準備の段階から皆様のご参加を募ります。またバザー用品についても、ご寄贈を賜りたく、お一人一点でもご協力いただければ幸いです。本年度のバザー収益金は、昨今の物価高騰を杞憂し、少しでも学生の財布に還元したいと考え、学生食堂での支援を計画しております。何卒よろしくお願い申し上げます。



バザーボランティアのお誘い ～できる人ができる時に～

- ・集まった寄贈品の値段付け
- ・ND祭前日の会場設営
- ・バザー当日の会場スタッフとして

大学の雰囲気も感じてみませんか？みんなでワイワイと作業します。ご都合が良い方はぜひご参加ください！

- ① 準備10月14日(土) 13時～16時頃 値段付け・仕分け
 - ② 準備10月27日(金) 10時～12時頃 商品搬入・会場設営
 - ③ 当日10月29日(日) 10時～16時頃 当日会場スタッフ
- 各日とも予定時間は前後することがあります

お問合せはメールまたはお電話でお願いします(別紙案内をご覧ください)

■件名/ND祭バザーボランティア

- 1. お名前 2. ご連絡先 3. お嬢様の学部・学年
 - 4. 上記①～③の希望日時 (短時間可、複数選択も大歓迎)
- をお知らせください。事務局から折り返し詳細をご案内させていただきます

お問合せ:京都ノートルダム女子大学ND育友会事務局(担当/辻)
ikuyukai@ml.notredame.ac.jp 075-706-3700

学生活動支援報告

わっしょいND夏祭り2023

学生課

7月3日(月)に総クラブ主催の学生交流イベント「わっしょいND夏祭り2023」を開催しました。イベント当日は祭りにふさわしく夏本番さながらの暑い一日となり、イベントでは、祭りといえばの「水ヨーヨー」「スーパーボールすくい」「輪投げ」「ストラックアウト」等にチャレンジして、キッチンカーで提供される「たこ焼き」「フランクフルト」「マンゴーかき氷」が食べられる引換券がもらえる内容を企画しました。

教務課のND祭でお馴染み「名物やきとり」も限定100食が提供されました。

また当日は約300名もの参加があり、すいか割りにも挑戦してもらうなど、大盛況のうちにイベントを終えることができました。

今年はようやくコロナ禍の様々な行動制限もなくなり本来のクラブ活動が再開しています。今後も新入生をはじめ学生の皆さんに楽しみながら交流を深められる、クラブ全体の活性化につながるようなイベントを企画していこうと考えています。

ND育友会からの助成金のおかげで、今回このようなイベントを企画・開催することができ、大変感謝しております。今後ともご支援よろしくお願い申し上げます。



大学公式SNSから知る学生たちの日々

企画広報課

SNSを使うことが日常となり、個人だけでなく企業や大学もSNSを積極的に活用しています。ND育友会の皆さまも、日々の情報収集やコミュニケーション手段として、幅広く利用されているのではないのでしょうか。京都ノートルダム女子大学も、さまざまなSNSで情報発信をしています。大学公式はX(旧Twitter)やFacebookをはじめ、5つのアカウントを運用していますが、各学科や部署でもそれぞれの特徴を活かしてSNSで情報を発信しています。

ぜひ公式サイト「SNS一覧」をご覧ください。見てみたいと思ったSNSアカウントをフォローしてみてください。学生のキャンパスライフや授業の様子が垣間見えることでしょう。

大学公式アカウント

- ▶Facebook 主にご家族の方や同窓生向けの情報発信
- ▶X(旧Twitter) 大学で実施されたイベントや授業の様子、キャンパス風景を配信
- ▶LINE 主に受験生を対象にした情報発信
- ▶Instagram 主に在学生と受験生を対象に、写真をメインとした情報発信
- ▶YouTube 大学紹介動画やミニ講義動画を配信

京都ノートルダム女子大学SNS一覧



キャリアセンターだより

キャリアセンターでは、学生の卒業後を見据え1年次からのキャリア教育および3～4年次生向けの進路・就職支援を行っています。今から20年ほど前までは、日本の多くの大学と同じく本学でも「就職課」が就職先の紹介などを行っていました。その後、大学でのキャリア教育の重要性が認められるようになり、本学でもキャリアセンターを設置し、就職支援に加えキャリア教育に取り組んできました。

本学で実施しているキャリア教育および就職支援は以下のとおりです。

① キャリア教育

学生が1～2年次から自身の人生を主体的に考え、総合的な就業力が身につけられるよう、正課科目の「ライフキャリア形成科目」および課外講座のキャリアガイダンスを開講しています。「ライフキャリア科目」には、本学の教員やゲスト講師による講義を通してキャリアデザインを考える講義科目や、就業体験を行うインターンシップ科目、学外の企業・団体から提示される課題に対して、学生が企画し提案をまとめる「キャリア形成ゼミ」などがあります。昨年度は、「キャリア形成ゼミ」の嵐山観光に関する取り組みがTVニュースで取り上げられました。今年度も2024年1月21日(日)の成果発表会を目指して5つのゼミが活動中です。

② 進路・就職イベント

おもに3～4年次生を対象に、就活ガイダンス、業界研究セミナー、面接対策講座、求人紹介相談会など年間50件以上のイベントを開催しています。就活ガイダンスや面接対策講座は、公務員や教員・保育士など企業就職及び進学を選ぶ学生にも役立つ内容となっています。

③ 個別相談や個別指導

キャリアアドバイザー、キャリアセンター教職員による個別相談および履歴書・エントリーシートの添削、面接サポートなど、学生一人ひとりの個性や強みを引き出せるよう個別指導を行っています。とくに、3年次生に対しては全員面談を行い、一人ひとりに合った支援を目指しています。



模擬就活(面接練習)の様子



キャリアセンターの様子

キャリアセンターには、求人票などの就職関連情報コーナー、相談用ブース、学生同士が気軽に情報交換ができるテーブルなどを置いた開放的なスペースを備え、学生が気軽に利用できる雰囲気づくりを心掛けています。

就職活動中の学生にとって、ご家庭での温かいサポートは大きな支えとなります。引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

京都ノートルダム女子大学
キャリアセンター長 鷲見 朗子

2023年度

教育懇談会開催のお知らせ

学生だけの参加・ご家族だけの参加・親子での参加いずれも可



9月23日(土) 13時より

会場 京都ノートルダム女子大学
ユージニア館 大講義室にて

「就活のカタチ2023」

●学生による内定報告会

本学4年次生と先生によるディスカッション

4年次生先輩の体験談を
ぜひ聴いてください！

「ゲームで学ぶ！

ライフイベント・リスク・消費者被害

ライフサイクルゲームⅢ ～生涯設計のススメ～

(消費者教育教材資料表彰2023消費者教育支援センター理事長賞受賞)

●ライフサイクルゲームⅢ (20代就職～65歳定年退職まで)

内定はゴールではなく社会人としてのスタートです。ゲームを通じてお金の大切さや将来に備えることの重要性を、あらためて皆で考えてみませんか？

「個別相談会」

修学相談は、学部・学科の教員が前期までの成績をもとに相談に応じます(但し、指導教員とは限りません)。その他、学生生活や就職活動に

ついてのご相談にも応じます。ご息女のことでご懸念が持たれることがありましたら、この機会に何なりとご相談いただきたいと思います。

後期開始直前に開催する「教育懇談会」は、ご家族だけでなく学生の就活にも役立つようなイベントにしたいと考えております。毎年ご好評を頂いている本学学生による内定報告会に加えて、今回は「キャリア」について「就活からのその先」も考えてみよう、ということで、学校の授業や企業の新入社員研修の教材としても活用されている、すざろく形式の消費者教育・金融保険教育教材を使って解説していただきます。人生のさまざまなリスクとそれらに対する必要な知識や備え、知っておくべき消費者被害とその対策、折しも成人年齢引き下げとなった今、学生たちに知っておいて欲しい常識を、親である私たちもあらためて一緒に考えてみませんか？

お申込みは、同封の別紙ご案内をご覧ください。学生だけの参加・ご家族だけの参加・親子での参加いずれも可能でございますので、ぜひとも多くの皆様にお申込みいただきたいと願っております。(但し、学生さんは事前申し込み不要です。UNIPAでもご案内します)

また、会場内ではND育友会の役員も参加しておりますので、お気軽にお声掛けください。同じ大学、同じ親として気楽にお話しできれば嬉しく存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。